



まんがの日特集

生誕90年！未来に語り継ぐ 神様・手塚治虫

2018年11月3日（土・祝）13時5分～15時55分

漫画の神様・手塚治虫が誕生してから今年で90年。手塚の誕生日である11月3日は日本漫画家協会などが「まんがの日」としていますが、その「まんがの日」に、著名なゲストと共に、その魅力や功績をおよそ3時間にわたって語りつくす。時間帯ごとに3つのテーマを設けて手塚の人生と作品世界を掘り下げながら、手塚のふるさと・宝塚や東京のイベント会場からの中継等を交えて、彼が作品に込めたテーマや次世代へのメッセージを紐解いていく。

また、放送に合わせたデジタル連動企画も行う。ゲストが選ぶ手塚作品のお気に入りのカットなどを番組の進行に合わせてHPに掲載するほか、SNSを使った同時実況、リスナーが選ぶ「未来に残したい手塚作品」投票などを実施する。そのほか、手塚作品のキャラクターたちによるオリジナルのミニラジオドラマやタイムコールを盛り込み、楽しく深く「手塚治虫」の世界へ誘う特集番組をお送りする。

13時台 「神様」手塚治虫が漫画に与えた衝撃

いまでは当たり前となっている漫画の表現方法の多くは、手塚治虫から生まれた。例えば、一コマごとにコマの大きさを変えた視覚的なメリハリや、静寂をあらわす「シーン」、主要なキャラクターの登場を表す「ドーン」といった擬音語は、手塚の発明といわれている。また、一話完結型やギャグが中心だった漫画の世界に初めて、物語性やドラマ性を持ち込んだ。これらの革命的アイデアは後年の作家に多大な影響を与えた。今日では定着したが故にむしろ見落とされがちな手塚の功績について掘り下げる。

14時台 同時代を生きた漫画家が語る「手塚」

手塚治虫に憧れ、同時代を生きた漫画家・藤子不二雄Aさん生出演。手塚の人となりや、そのルーツに迫る。名作と評価されている手塚作品の中には、幼少期を過ごした大阪や兵庫の文化から影響を受けたものが数多い。たとえば男装の麗人である主人公サファイアが活躍する「リボンの騎士」は、手塚が幼いころから親しんだ宝塚歌劇の影響が見られる。また、少年時代に目の当たりにした空襲による惨状は、彼の創作活動の原点となった。藤子氏の語る手塚治虫の珠玉のエピソードとともに、手塚作品の礎を築いたふるさとの日々を追う。

15時台 手塚が未来に残したかったメッセージ

手塚治虫が、生涯を通して描いたテーマが「生命」と「平和」。作品を通してだけでなく、晩年は病の身をおして講演会を通して子どもたちに伝えていた。手塚の生前最後の講演会からメッセージを読み解くとともに、東京・吉祥寺で行なわれる「手塚治虫文化祭—キチムシ2018—」の会場からの中継で、手塚の精神を受け継ぐ若手クリエイターたちの活動にも迫る。これからの時代を生きる、私たちが受け止めるべき手塚の思いを探る。

スタジオゲスト 藤子不二雄A（漫画家） カラーカ・矢部太郎（お笑い芸人・漫画家）

カサハラテツロー（漫画家） 竹内オサム（同志社大学教授 手塚治虫研究者）

伊藤純奈（乃木坂46、手塚治虫原作「七色いんこ」舞台出演）

ドラマパート出演者 火の鳥役…竹下景子 ブラック・ジャック役…大塚明夫 鉄腕アトム役…津村まこと